



## 射水ケーブルネットワーク株式会社 様

(所在地：富山県射水市)

Case Study

### Solution

#### 帳票トータルサービス

HCS 刃データセンター  
が提供する、  
アウトソーシングサービス。  
帳票作成からデリバリーまで、  
帳票にまつわる  
各種作業を代行します

帳票電子化サービス

Web 帳票サービス

プリンティングサービス

封入封緘サービス

圧着ハガキ加工サービス

FAX 送信サービス



コスト削減 効率化 安心安全

お客様のご要望に合わせて、  
複数のサービスを組み合わせ  
てご利用いただくことができ  
ます!ぜひご相談ください。

※詳しくは弊社営業まで

プリンタ消耗品  
事務用品の購入は

Net23

が便利です

<https://www.coworco.com/hcs>

1 プリンタ消耗品  
事務用品を  
Webから簡単購入!

2 34,000点にのぼる  
豊富な品揃え!

3 14時までの  
ご注文で翌日お届け!

### 負担の大きい請求書発送作業を委託し、新たな働き方へ



射水ケーブルネットワーク株式会社 外観

射水ケーブルネットワーク株式会社様は、富山県射水市全域と高岡市の一部地域をサービスエリアとし、テレビ放送・インターネットサービス・電話サービス・MVNO 事業を業務とされるケーブルテレビ局です。開局は1994年、略称はiCNです。

今回は、請求書や督促状の印刷・封入封緘・発送作業のアウトソーシングサービスを導入した事例について、同社総務部総務課長 立浪 誠司様にお話を伺いました。(以下、敬称略)

#### 検討はどのようなきっかけでしょうか？

立浪：ご利用者様の増加に伴い請求書や督促状の発行数が徐々に増加し、当初は1回あたり200通程度だったが、現在は500～700通程度になりました。印刷から発送までの作業負担が大きくなってきたので業務の効率化が急務と考え、業務委託を検討することとしました。

#### ご検討の背景を教えてください。

立浪：月初には請求書を、月の中旬には督促状を自社で印刷して封入封緘していました。督促状に同封するコンビニ払込用紙はミシン目付きの専用用紙を使用するので、他の印刷物が混入しないよう専用のレーザープリンタを用意して印刷していました。プリンタは事務所から離れたところにあって、用紙を補充しながらの印刷で効率も悪く、長い時には2時間程かかっていた。印刷が終わると、総務課員6名での封入作業です。未納者宛の場合、延滞状況によって封入する書類が異なるので、封入物を正しく振り分けた上で、折り込まなければいけません。さらに白紙が含まれていないか、封入枚数が合っているか、といった最終チェックを経てようやく封緘できました。郵便局が集荷に来るまでの時間制約もある中で、請求書は半日、督促状はほぼ1日かかっていた作業でした。

#### 導入の決め手を教えてください。

立浪：他社のサービスも調べましたが、HCSさんに相談したところ、印刷から発送まで一貫したプロセスをご説明いただき、個人情報の取り扱いを安心してお任せできると感じたことと、HCSさんが地場の企業で身近な存在だったので運用サポートも安心だったことが決め手になりました。

#### 導入してみてもいいのでしょうか？

立浪：新社屋に移転した2020年7月にアウトソーシングサービスの利用を開始しました。以前は業務基幹システムから直接請求書や督促状を紙に印刷していましたが、今は紙を出力せずPDFのイメージデータを出力して、HCSさんの刃データセンターにアップロードするだけ。あとはHCSさんが専用機を使って印刷・封入封緘を行い、郵便局持ち込みまで対応してくれます。請求書や督促状の印刷による残業はなくなり、毎回総務課員6名で対応していた封入封緘作業もなくなりました。空いた時間を利用して、総務課員各自が抱える属人化作業を共有する時間に充てて、新たな働き方に対応できるよう準備を進めています。

#### 今後の展望を教えてください。

立浪：請求書・督促状発送作業で当社が紙を取り扱うことが無くなりましたが、同じ社内でも他に目を向けると、会議資料など紙を扱うシーンは決して少なくないので、社内業務のペーパーレス化に取り組みたいと思います。

貴重なお話ありがとうございました。

射水ケーブルネットワーク株式会社  
射水市本町2丁目10-30 <https://www.canet.ne.jp> 0120-82-7320

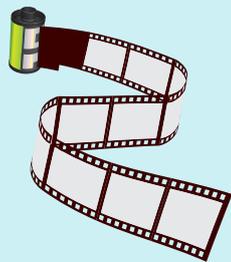
# デジタル化とイノベーション

デジタル化の波が押し寄せた産業には劇的なイノベーションが起きると言われています。

アナログフィルムを使った写真がデジタルデータに置き換わり、ハードもカメラからスマホに代わってきました。このわずか2～3年の変化で国内大手企業はデジタル化に舵を切り、売上・利益ともに増加。米国企業は追従できず縮小しました。(コダック・モーメント)

Amazon・Uberに代表されるネット企業の隆盛により、書店・小売り・旅行業には劇的に変化がありました。

デジタル化はイノベーションと共に産業変化を起こすのです。コロナの影響もありデジタル化の波が押し寄せてきます。周到なデジタル化の準備がイノベーションの鍵となります。



## どうなる？2021年を大予想！



いよいよ2021年がスタートしました。どの企業も「今年こそは！」と明るい未来に向けて全集中。世界初の宇宙旅行が実現する歴史的な年に、私たちの生活や働き方がどのように変わるのか、予想してみました。

引き続きコロナの影響を受け「非接触」「非対面」をキーワードに変化が起きます。

### 生活の変化

1. タッチレス技術が進化。不特定多数が利用するATMやお店の注文パネルなど、画面に直接触れなくても指をかざすだけで操作ができるようになる
2. キャッシュレス決済需要はさらに加速。指輪型端末を身につけ、手をかざすだけで決済を済ませる人が出てくる
3. スポーツや音楽イベントなどは、リアルとVRを使ったオンラインが融合。収容人数がこれまでの数十倍となり、興行収入が増加。チケットを安価で入手できるようになる
4. 教育では、生徒はリアルとオンラインを自由に選択でき、どこでも同じ質の授業を受けられるように。教師からだけではなく、オンラインで国内外の企業や大学教授から学べる機会が増えてくる

### 働き方の変化

1. 脱ハンコ社会に向け、ワークフロー導入など、ペーパーレス化の動きが加速する
2. 営業活動や会議、ノウハウ共有など、社内外の様々な業務においてオンラインとオフラインを効果的に使い分けられるようになる
3. オンライン業務が増えるとともに、音声記録などのデータを有効活用するように。AIで議事録を自動作成する企業も出てくる
4. デジタル化により扱うデータ量が増え、セキュリティなどの管理環境を見直す必要が出てくる

皆さまが、これから待ち受けている時代の変化に対応できるよう、HCSが「全力で」ご支援いたします。本年もよろしくお願いたします。

## HCSのよこが



金融ビジネス本部 金融システム部

やまもと ももこ

山本 桃子 さん (2016年入社)

### ■ 現在の業務内容は？

フィールドSEとして、金融業のお客さまの悩みごとをお聞きし、それに沿える解決策をご提案しています。

全国銀行協会が手形・小切手の交換業務を電子化するのに合わせ、「電子交換所対応プロジェクト」にメインSEとして参加し、プロジェクト全体のスケジュールやシステム設計～開発～納品までの管理を任されています。2022年秋に全国200以上のお客さま先で一斉稼働させるため責任重大です。視野を広く持ち、状況を把握し1つ1つの事柄を丁寧にクリアしていきたいです。

### ■ 休日はごはんめぐり

インスタグラムなどで話題のごはん屋さんやカフェめぐりを友人としています。昨年は思うように出かけられませんが、先月はようやく、牡蠣がおいしいレストラン「牡蠣ノ星」(富山県入善町)に行けました。



## 編集後記

あけましておめでとうございます。今年はどうかな1年になるのでしょうか？年の初めは、期待がふくらみわくわくしますね。



2021年はHCSにとって転換期です。お客さまに「あったらいいな」と思ってもらえる新サービスの創出に向け、全社でアイデアを出し合っています。また、これまでのHCSソリューションフェアに替わり、お客さま同士が「つながる」ことで「共感」し「新しい発見」ができるイベントを企画中です。本年もHCSをよろしくお願いたします。(まつお)

## お問い合わせ

HCS 全カパートナー

北陸コンピュータ・サービス株式会社

営業本部 ICTイノベーション推進室

〒939-2708 富山市婦中町島本郷 47-4  
TEL (076)495-9824 FAX (076)495-9843

[www.hcs.co.jp](http://www.hcs.co.jp)